

特許公報から発明の要点を効率的に読み取るコツや、読み取った特許情報を発明ダイアグラムにまとめ、他社特許回避や自社の発明創出の為に活用する方法を演習を交えつつ解説します。

## 技術者のための 特許情報の読み方・活用方法 【演習あり】

～特許公報の必要な箇所だけを素早く読み取り、特許情報を研究・開発へ有効利用するコツ～

講師： アイディエーション・ジャパン株式会社 取締役 CTO 長谷川 公彦 氏

1976年 レオン自動機株式会社に入社 食品自動機械の開発設計に従事。1980年 日幸工業株式会社に入社 初代特許室室長を務める。1989年 ホリー株式会社に入社 総合研究所次長、特許室次長を務める。1999年 佐野国際特許事務所に入所 特許調査、特許出願、中間処理、知財創造コンサルを務める。2010年 ウィルフォート国際特許事務所に入所 TRIZセミナー、コンサルを務める。2011年～ アイディエーション・ジャパン株式会社 取締役 CTO 就任、TRIZコンサルを務める。NPO法人日本TRIZ協会・理事、(社)発明協会 知的財産アドバイザー。

- 日 時 2019年3月8日(金) 10:30～16:30 (講義・演習：約5時間)
- 会 場 RYUKA 知財ホール (東京 新宿駅)
- 受講料 1名 29,980円 (税込/テキスト付)

### 1. 特許公報類の意義とサンプル

- (1) 特許公報類の意義
- (2) 発明とは技術的思想の創作
- (3) 特許権の性質
- (4) 特許情報の公開
- (5) 特許権の公開

### 2. 特許公報類の元データ

- (1) 特許出願に必要な書類
- (2) 特許明細書と問題解決過程との対応

### 3. 特許請求の範囲の読み方

- (1) 特許請求の範囲の標準形式
- (2) 特許請求の範囲の構成
- (3) 特許請求の範囲の解析事例
- (4) 特許請求の範囲の図解

### 4. 特許された発明の解釈

- (1) 特許された発明の解釈
- (2) 他の権利との関係
- (3) 基本特許と改良特許

### 5. 特許公報類を技術開発に活用する

- (1) 進出分野の発見、開発テーマの発見
- (2) アイデア出しの参考書として
- (3) 特許群を確認する
- (4) 新技術の発見と技術予測

### 6. 特許公報類を知財戦略に活用する

- (1) 審査経過の監視、企業・人材確認
- (2) 技術導入先・競合他社の発見
- (3) 他社特許の排除

### 7. グループ演習 (作成、発表、講評)

- (1) 特許公報に掲載されている発明を図解する

#### <習得知識>

1. 特許公報を技術開発のヒントとして使用できる
2. 自分の開発した技術が新しいものかどうか判断できる (特許可能性を見極められる)
3. 他社の技術動向を踏まえた技術開発が行える
4. 技術開発能力 (正確度、速さ) が向上する

#### <講義概要>

まだ特許実務経験が浅い技術者の方にとって、特許公報からその発明の目的、構成、作用、効果を迅速に読み取ることは難しい場合が多いです。そのため、本講習会では、短時間で特許公報の必要な箇所だけ拾い読みし、一度に複数の発明の要点を理解するコツを紹介します。また、読み取った内容を第三者に的確に伝えられるように一枚のダイアグラム (発明ダイアグラム) にまとめる方法やハンドリングのよい発明ダイアグラムを使い他社特許の回避や自社の新たな発明を創出する際の特許情報の活用方法も解説します。その結果、今後の知財創造の生産性の向上に役立つ基本なスキルが身につきます。